



Your IFCMeNEWS is available
in other languages [HERE](#)

IFCMからのお知らせ

“IFCM-at-Home”——ソーシャル・ディスタンスの時代の合唱関連コンテンツ

世界は今、まったくなじみのない苦難の時を経験しています。このたびのパンデミックが数々の不自由をもたらすなか、世界各地の合唱愛好家たちも、通常の合唱活動、練習や公演を継続できない状況にあります。たとえ前へ進むことが従来よりむずかしくても、今はみなが心を強く持ち、団結することが、これまで以上に重要だと思います。幸い、現代はオンライン・テクノロジーの時代です。わたしたちは何もできないわけではありません。合唱界は、お互い同士や観客とのつながりを維持するさまざまな方法を発見しつつあります。

IFCMは最近、そうした方法に関し、合唱界全体に有益な記事、情報、アイデア、知恵を収集しはじめ、ウェブサイトになつたサブページ、[IFCM-at-Home](#)を設けました。ここには、みなさんがご利用できるよう、具体例を含めさまざまな情報が蓄積されていきます。更新は毎日行われ、新たなニュースや興味深い投稿が掲載されますので、必ず毎日チェックするようにしてください。最新情報や斬新なバーチャル・プロジェクトを見逃すことがないように、IFCMのソーシャル・メディア・プラットフォーム([Facebook](#)、[Instagram](#)、[Twitter](#))も忘れずにフォロー願います。これらのプラットフォームでは、つながりを維持する方法をテーマに、より具体的な情報を提供します。みなさんも、何か世界の合唱界の助けとなりそうな情報がありましたら、ぜひご提供ください(submit)。また、ご自身の体験やプロジェクトについても、お聞かせいただければ幸いです。どうぞよろしくお祈りします！ それではまた！ どうもお元気で。

INTERNATIONAL FEDERATION FOR CHORAL MUSIC IFCM

Follow us at:

[f](#) /IFCMop [i](#) /ifcm_official [t](#) /ifcmOfficial

Stay safe!

News, interesting articles, ideas and tips with IFCM
in the time of social distancing.

#ifcmathome #choirsathome

世界合唱の日、2020年の予定日

現在継続中のパンデミック危機により、ありとあらゆる合唱イベントが中止となっているうえ、この危機がいつ収束するのか未だ不明ではありますが、希望を捨てず前向きでありつつけることは大切だと思います。こうした考えから、わたしたちは用心しつつも楽天的に、2020年世界合唱の日の予定日を発表することにしました。IFCM執行役員会が昨年、決定したとおり、2020年世界合唱の日([World Choral Day 2020](#))は、12月の第2日曜日(2020年12月13日)に開催します。合唱団や合唱イベントは12月の1カ月間、いつでもこの祝祭に参加す





ることができます。わたしたちは、頭上を覆う暗雲が遠からず消え去ること、合唱活動を含め、正常な日常が一刻も早くもどってくることを心から願っています。もちろん、情報は常時収集しつつ、この日取りに関して調整が必要かどうか、今後数週間から数カ月のあいだに見極めていく所存です。最新情報はフェイスブック([Facebook](#))でご確認ください。

IFCMの機関誌ICB(2020年4月号)には、2019年世界合唱の日の総覧([review](#))が掲載されています。こちらもぜひご覧ください。

IFCM YouTubeプレイリスト——バーチャルの合唱プロジェクト

IFCMは、今回のパンデミックにより生まれた、バーチャルの合唱プロジェクトを収集し、YouTube上でまとめています。みなさんも最近、こういった動画を制作していないでしょうか? どうかそのリンクをIFCMのソーシャル・メディア、または、こちらのEメール・アドレス([email](#))にお送りください。IFCMがあなたのバーチャル・プロジェクトをプレイリストに加えさせていただきます。こちらをクリックして、その一連のすばらしい動画をぜひご覧ください。[here](#)

世界青少年合唱団財団(WYCF)

世界青少年合唱団財団([World Youth Choir Foundation](#))は、世界青少年合唱団の過去のセッションのドキュメンタリーを財団のYouTubeチャンネルに追加しつつけています。ドイツ連邦青少年管弦楽団とともに行う予定だった2020年のセッションは、新型コロナウイルスのパンデミックにより残念ながら中止となってしまいました。そこで財団は、

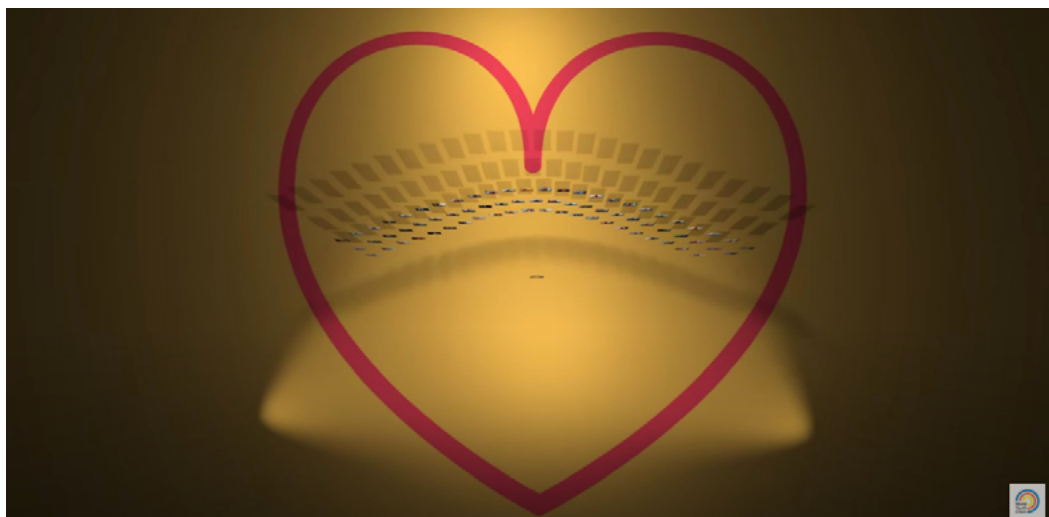




同プロジェクトの10周年目のセッション、スペインで行われた2020年世界青少年合唱団 ([2010 World Youth Choir](#)) を記念するドキュメンタリーを特集しました。

この合唱団は、世界38カ国から集まった80名の団員で構成されていました。芸術監督は、指揮者のRagnar Rasmussen(ノルウェー)とJosep Vila i Casañas(スペイン)。過去のセッションの動画は、世界青少年合唱団の未来の企画運営者にとって有益な資料となります。この巣ごもりの期間中に、世界青少年合唱団の動画をぜひあなたのプレイリストに加えてください。

こちらの「アイリッシュ・ブlessing」([An Irish Blessing](#)、アイルランド民謡、ジェイムズ・E・ムーア編曲)の美しいバーチャル演奏をどうかお見逃しなく。数週間前、新型コロナウイルス・パンデミックの最盛期に、2018年～2020年の世界青少年合唱団の団員数名がバーチャル合唱団を結成しようと思いついたのですが、そのアイデアがみごとに実を結び、32カ国、71名の若い歌手とWYC財団理事たちが希望と慰めと連帯のメッセージを送っています。また会える日まで！



IFCM創設メンバーからのお知らせ

ヨーロッパ合唱連盟(ECA-EC)

アンケートの結果

欧州のネットワークのひとつであるヨーロッパ合唱連盟にとって、新型コロナウイルスの感染拡大が世界に及ぼしている影響に関し、“現場の声”を聴くこと、集団歌唱(コレクティブ・シンギング)や合唱にかかわるすべてのみなさんから情報を得ることは、きわめて重要です。この1カ月、わたしたちは今回のパンデミックから合唱界がどのような影響を受けているか把握するために、アンケートを実施してきました。アンケート結果の第1弾をこちらでごらんください。[Read](#)





アンケート(survey)への回答は現在も受け付けております。合唱界で活動する方なら、国を問わずどなたでもご参加いただけますので、できるかぎり多くの地域から多くの声を聴くことができるようご協力をお願いします！ ご自身の経験をわたしたちに教えてください。

新型コロナウイルス対策の新たなツールと情報源

ヨーロッパ合唱連盟とその会員が収集した新たなツールと情報源をこちらのウェブページ([webpage](#))でごらんください。

ザ・インテリジェント・クワイアとヴォーカル・ペインティングのオンライン・セミナー

ザ・インテリジェント・クワイア(TIC)とは、デンマークの大学教授、Jim Daus Hjernøeによって生み出されたひとつの哲学、コンセプトです。

TICは、Hjernøe氏の持つ合唱指揮者育成のための音楽哲学である、合唱の歌い手が音楽づくりのプロセスに責任を持つことを奨励し、可能にしようという考え方から生まれています。このコンセプトには、ヴォーカル・ペインティング(VOPA)の手振りを、耳の訓練、理論、発声、即興演奏とともに、指導または指揮のツールとして用いるという教育学的・芸術的方法論が含まれます。

ヴォーカル・ペインティングとは、声楽のための新たな言語として、従来の合唱の指揮法を補完することを目的に考案された双方向性の手振りの集大成です。現在、そのなかには75の手振りがあり、さらに新たな手振りが作られています。

こちらをごらんのうえ、セミナーにお申込みください。[Read more and register](#)




**THE INTELLIGENT CHOIR
& VOCAL PAINTING**

Friday, 19 June, 11.00 CEST

introduced by
Jean-Claude Wilkens

Jim Daus Hjernøe



ヨーロッパ合唱連盟2019年 年次報告

「ヨーロッパ合唱連盟2019年 年次報告」([ECA-EC Annual Report 2019](#))は、合唱愛好者の豊かなネットワーク、欧州各地で実施された全活動、2019年に生まれたさまざまなプロジェクトをまとめたものです。ご尽力くださった連盟の会員、パートナー、ボランティアのみなさん、どうもありがとうございました！

しばし思い出の小道の散歩を楽しみ、何かのかたちでご自身が参加したイベントに思いを馳せてみてください。

報告書のコピーをお求めの方はこちらにご連絡ください。[here](#)

全米合唱指揮者協会(ACDA)

2020年全国合唱研究シンポジウム

([The 2020 Symposium for Research in Choral Singing](#))

新型コロナウイルスへの対応策として、2020年全国合唱研究シンポジウムはバーチャルで行うことになりました！ シンポジウムのプレゼンテーション、論文、ポスター、公演は、5月15日～7月25日まで、公開されます。





予定を空けておきましょう

ACDA全国大会“音楽における多様性”

([ACDA National Conference - "Diversity in Music"](#)) (2021年3月17日～19日、テキサス州ダラス)

パンデミックのさなかにある合唱のプロのための情報源

([Resources for Choral Professionals During the Pandemic](#))

ACDAは、特に合唱指揮者と合唱指導者のために、情報、アイデア、ツールのページを作成しました。その大部分は無料で、ページは定期的に更新されます。

IFCM会員からのお知らせ

国際音楽評議会

新型コロナウイルスのパンデミックへの対応に当たり、文化にその力を発揮させる

世界が新型コロナウイルスのパンデミックに直面し、社会を再構築する必要に迫られている今、文化はその対応の中心であるべきです。文化は、人々の生活に勇気、慰め、希望をもたらします。この力を活用するために、国際音楽評議会と、#カルチャー2030ゴール ([#Culture2030Goal](#)) 運動のそのパートナー一同は、国際連合2030年アジェンダの取り組みの一環として、国際連合の諸機関、各国政府をはじめ、すべての関係者に行動を起こすよう求めます。

読み、署名し、協力しよう!

[Read, Sign, Share!](#)

[Lisez, Signez, Partagez!](#)

[Leer, firmar, compartir!](#)

バーゼル・ヨーロッパ青少年合唱祭(EJCF BAASEL)からのメッセージ

2020年5月21日、わたしたちは、第10回バーゼル・ヨーロッパ青少年合唱祭(当初の開催予定日: 5月20日～24日)に招待された全合唱団、および、ヨーロッパ全土と全世界の人々との連帯を、ひとつのイベントによって表明しました。40名を超えるフェスティバルのスタッフ、5グループが、未使用の宣伝用小旗900枚から400平方メートルのカラフルな連帯の旗を作ったのです。色とりどりの小旗はそれぞれ、ひとりひとりの歌手、または、ゲストを象徴しており、全部合わせて、その一枚の旗は、ヨーロッパ青少年合唱祭の標語である“文化の多様な色”(The Colours of Cultures)を表しています。

2020年6月号

合唱界をつなぐボランティア



IFCMeNEWS

こちらでこのイベントの様をごらんください。

[EJCF Website](#)、[EJCF Facebook](#)、[EJCF Youtube](#)、[EJCF Instagram](#)

次のバーゼル・ヨーロッパ青少年合唱祭は2021年5月12日～16日です。



世界の合唱イベントカレンダー——2020年6月、7月

ヨーロッパ合唱連盟 (ECA-EC) 発行の合唱イベントカレンダー ([Calendar of Choral Activities](#))、および、全米合唱指揮者協会 (ACDA) のネットワーク、コーラルネット ([ChoralNet](#)) で、来月以降の合唱イベントをご確認ください。